

茨城県陶芸美術館 企画展

# 欲しいがみつかる・うつわ展

## － 笠間と益子 －

プレス・リリース

平成 30 年 9 月 22 日（土）－12 月 9 日（日）



上段左から 久保田健司 象牙釉“鳥”大皿 2017 年  
鈴木麻起子 Turkish(teacup/pitcher/soupcup shallow (L)) 2016 年  
中段左から 斉藤ダイスケ どんぶり 2018 年／中園晋作 ボウル 2018 年／  
グラハム マクアリスト 塩釉醤油差し 2018 年／  
久保田健司 象牙釉コーヒーカップ 2018 年／原陶工房 タンブラー（ボタン） 2018 年  
下段左から 植竹敏 ティーセット 2018 年／桑原哲夫 ティーセット 2018 年  
※すべて個人蔵

### 茨城県陶芸美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 2345 番地（笠間芸術の森公園内）

Tel:0296-70-0011 Fax:0296-70-0012 <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名 欲しいが見つかる・うつわ展 —笠間と益子—

2 開催趣旨

A：一言でいうと（105文字）

笠間と益子を活動の拠点とする約60名の作家の作品により、作家自身の個性や現代の感覚が取り入れられた新しいスタイルのうつわを紹介いたします。「使ってみたい」「飾ってみたい」など、欲しいうつわが見つかる展覧会です。

B：もう少し丁寧というと（180文字）

笠間や益子のやきものは、作家によって土や釉薬など使用する素材はもちろんのこと、成形や施釉の手法にも違いがあり、そのスタイルは実に様々です。本展では、笠間と益子を活動の拠点とする約60名の作家の作品により、作家自身の個性や現代の感覚が取り入れられた新しいスタイルのうつわを紹介いたします。「使ってみたい」「飾ってみたい」など、欲しいうつわが見つかる展覧会です。

C：詳細にいうと（714文字）

近年、これまでの陶芸のイメージを変えるような新しいタイプの作品をつくる作家が次々と登場しています。作品には、作家自身が思い描いたことが産地の伝統的なスタイルや材料などにとらわれることなくストレートに表現されており、多くのものが高いデザイン性を備えています。新しいタイプのうつわをつくる作家が活躍するようになった背景には、陶芸を本格的に学ぶことができる研究機関の存在と、情報化社会の発達があります。多くの産地には、研究所、指導所、大学校と呼び名は違いますが、陶芸を学ぶことができる専門機関が存在します。現在活躍している作家の多くはこれらの専門機関において、職人ではなく作家になることを目標に陶芸を学んだ経歴をもっています。また、情報化社会の成達は、材料を手に入れることや販売網を広げることを容易にし、産地の伝統にとらわれることなく活動できる環境をつくりだしました。

その中でも、関東を代表する陶芸の産地として知られる茨城県の笠間と栃木県の益子は、戦後の生活様式の変化によるやきものの需要の激減という危機を、新しい生活様式にあったやきものづくりへの転換や陶芸家の養成に力を入れることで乗り切ったという経緯があり、作家が自由に活動できる風土があります。そして現在では、全国から陶芸を志す人々が集まり、多くの個人作家が活躍しています。

本展では、笠間と益子を活動の拠点とする55名の作家と、全国の産地で活躍する7名の作家の約250件の作品により、作家の個性や現代の感覚が取り入れられた新しいタイプのうつわの魅力と共に、自由な作陶活動を育む陶芸産地、笠間と益子の魅力を紹介いたします。「使ってみたい」「飾ってみたい」など、欲しいうつわが見つかる展覧会です。

3 展示構成

出品総数 62名の作家による約250件（テーブルウェア等の組み物も1件としています。）

第Ⅰ章 クール&モダン

第Ⅱ章 シック&トラッド

第Ⅲ章 ポップ&キュート

第Ⅳ章 ティー&カフェ

4 出品作家

全国の産地：鈴木麻起子・田淵太郎・新里明士・二階堂明弘・藤田佳三・吉村茉莉・和田的  
笠間：東香織・阿部慎太郎・植竹敏・大貫博之・大野佳典・沖誠・金高実音世  
上林秀明・鯨井円美・グラハム マクアリスタ・黒田隆・桑原哲夫・桑原典子  
Keicondo・澤田勇人・島崎小乙里・鈴木環・鈴木美汐・須藤訓史・数納賢一  
高見沢美穂・滝沢三奈子・中野明彦・中村考夫・根本幸一・根本峻吾  
橋口暢弘・浜岡満明・原陶工房（原純夫・京子）・原田譲・平松祐子・比呂  
穂高隆児・本田あつみ・町田幸・森川泰治・森田公亮・山崎さおり  
益子：阿久津雅士・石川若彦・伊藤剛俊・えきのり子・遠藤薫・大塚温子  
久保田健司・斉藤ダイスケ・島田東秋・武田敏彦・竹ノ内太郎・田代倫章  
中園晋作・本橋里美・我妻淳・若菜綾子・渡辺キエ

- 5 主な作品（作品キャプション）
- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| ①沖誠 テーブルウェア 2018年      | ⑥若菜綾子 ティーセット 2018年   |
| ②えきのり子 茶器揃 2018年       | ⑦桑原哲夫 ティーセット 2018年   |
| ③阿部慎太郎 レリーフ皿 2018年     | ⑧竹ノ内太郎 しのぎシリーズ 2018年 |
| ④伊藤剛俊 ティーセット 2018年     |                      |
| ⑤高見沢美穂 まんまるマグカップ 2018年 |                      |
| 森模様のピッチャー 2018年        | ※全て個人蔵と記してください。      |

6 会期・会場等

会 期：平成30年9月22日（土）～12月9日（日）  
会 場：茨城県陶芸美術館 地下1階企画展示室・2階第2展示室  
開館時間：午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）  
休 館 日：月曜日〔ただし、9月24日（月・祝）10月8日（月・祝）11月5日（月）は開館。9月25日（火）10月9日（火）は休館〕

7 主催等

主催：茨城県陶芸美術館／協力：益子陶芸美術館／助成：芸術文化振興基金

8 観覧料

一般720(570)円 満70歳以上360(280)円 高大生510(410)円 小中生260(210)円  
\*（ ）内は20名以上の団体料金。障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方  
〔ただし1人につき1人まで〕は無料。土曜日は高校生以下無料。

**11月13日（火）県民の日は入場無料**

9 関連催事 ※詳細はイベントチラシ、ホームページ等でご確認下さい。

○講演会「暮らしのうつわの変遷とこれから」

日時：9月29日（土）13:30～15:00  
会場：当館1階多目的ホール(聴講無料)  
講師：松本武明氏（ギャラリーうつわノート店主）  
定員：120名（先着順）

○出品作家のカップでさし茶を楽しむ「お茶のセミナー」

茨城県南西部を中心に生産されている「さし茶」を使用した、緑茶や紅茶などを楽しむ講座です。この講座で使用するカップには、出品作家の作品を用意しています。

講師：花水理夫氏（さし茶 長野園）  
日時：10月27日（土） 9:30～／11:00～／13:00～／14:30～  
定員：各回6名（事前申込・先着順）

会場：当館地下1階 オープンギャラリー

参加費：500円

事前申込：電話にて（電話0296-70-0011）

申込開始日：9月8日（土）9:00から

○呈茶会「茶の湯とくらす」おいしいお茶をどうぞ

日時：10月8日（月・祝）、11月3日（土）  
10:00～／10:50～／11:40～／13:00～／13:50～／14:40～／15:30～

会場：当館地下1階マリメッコ茶室

定員：各回8名（事前申込・先着順）

参加費：500円

事前申込：電話にて（電話0296-70-0011）

✓ 申込開始日：9月8日（土）9:00から

○出品作家によるアーティストトーク

日時：10月14日（日）穂高隆児氏、渡辺キエ氏  
11月4日（日）阿部慎太郎氏、田代倫章氏、広瀬一郎氏  
11月18日（日）鯨井円美氏、中園晋作氏  
各日とも13:30から

会場：当館地下1階企画展示室

※11月4日（日）は、ギャラリー桃居の店主、広瀬一郎氏に、スペシャルゲストとして参加していただきます。

※参加には、観覧券が必要となります。

※都合により、講師を変更させていただく場合がございます。

10 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345 番地（笠間芸術の森公園内）  
TEL.0296-70-0011/FAX.0296-70-0012

展覧会担当：学芸課 首席学芸主事 安田和人 e-mail : yasuda.kazuhito@blue.ibk.ed.jp  
首席学芸員 花里麻理 e-mail : hanazato.mari@blue.ibk.ed.jp  
広報担当：企画管理課 主事 福家佳奈 e-mail : kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

広報担当の E-Mail アドレス [kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp](mailto:kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp) までご連絡いただければ、すぐにデータをお送りいたします。写真を掲載する際には“5 主な作品”に記載されている、それぞれの作品キャプションを必ず併記してください。

